

平成28年度（独）国際観光振興機構調達等合理化計画の概要

- 公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組む。
- 計画策定、実施、評価及び次計画への反映というPDCAサイクルにより推進。
- 理事を総括責任者とする調達等合理化検討会を設置。
- 計画策定及び自己評価に当たっては、契約監視委員会の点検を受けた上で、主務大臣へ報告。

I. 調達の現状（平成27年度）

● 調達実績

→ 131件、3,013百万円

- ◇「競争性のある契約」
118件、2,835百万円
- ◇「競争性のない契約」
13件、179百万円

● 一者応札・応募の状況

→ 39件、1,011百万円

- ◇「一者応札」
12件、193百万円
- ◇「一者応募」
27件、819百万円

● 障害者就労施設からの調達

→ 5件、8万円

- ◇調達の推進方針に基づき調達

II. 改善に向けた主な取組

● 重点的に取り組む分野

- ①訪日プロモーション事業の企画競争実施に当たっての要件審査の充実及び迅速化並びに計画的な事業実施
→訪日プロモーション事業の増加等に対応するため、企画競争の要件審査チェックリストを作成し、要件審査体制の充実及び迅速化を図るとともに、一層計画的な事業の実施を図るため適切な進捗管理を行う。
- ②企画競争の一者応募の見直し
→平成27年度のアンケート調査を踏まえた対応の一環として、要件審査の迅速化等に取り組むこととし、引き続き、一者応募について、当機構の取組みにより改善できる余地がないか検討するため、企画競争説明書を受け取りながら参加しなかった事業者に対してアンケート調査を行い、要因分析し対応策を検討する。
- ③障害者就労施設等からの調達
→障害者就労施設等からの調達を確実に推進するため、対象物品等の拡大を図る。

● ガバナンスの徹底

- ①競争性のない随意契約等を新たに締結した場合、監査室の点検を実施。
- ②訪日プロモーション事業等の一層複雑化・専門化している調達業務に対応するため、調達に係る内容の海外事務所職員向け研修を実施。